

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3149155号
(U3149155)

(45) 発行日 平成21年3月12日(2009.3.12)

(24) 登録日 平成21年2月18日(2009.2.18)

(51) Int.Cl. F 1
A 4 1 D 1/04 (2006.01) A 4 1 D 1/04 Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号	実願2008-9166 (U2008-9166)	(73) 実用新案権者	505035150
(22) 出願日	平成20年12月26日(2008.12.26)	久保 美久	
		高知県高知市東城山町135番地4	
		(74) 代理人	100085648
		弁理士 田中 幹人	
		(72) 考案者	久保 美久
		高知県高知市東城山町135番地4	

(54) 【考案の名称】 Tシャツ

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 Tシャツに年表示と特定のメッセージを同時に表示することにより、両者を関連づけて相乗効果を高め、メッセージを顕在化させて付加価値を付与することにより、各種記念品や贈答用、お土産として好適なTシャツを提供する。

【解決手段】 特定の年表示3と特定のメッセージ4を表示してなるTシャツを基本として提供する。そして、特定の年表示3と特定のメッセージ4をTシャツの前面2，背面又は袖から選択された一又は複数の箇所に表示してなる構成とし、メッセージとして「ありがとう」の文言を表示する。また、年表示に代えて、年度表示とし、更に年表示に代えて、年月表示、年月日表示又は期間表示のいずれかを表示する。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

特定の年表示と特定のメッセージを表示してなる T シャツ。

【請求項 2】

特定の年表示と特定のメッセージを T シャツの前面、背面又は袖から選択された一又は複数の箇所に表示してなる T シャツ。

【請求項 3】

メッセージとして「ありがとう」の文言を表示した請求項 1 又は 2 記載の T シャツ。

【請求項 4】

年表示に代えて、年度表示とした請求項 1, 2 又は 3 記載の T シャツ。

10

【請求項 5】

年表示に代えて、年月表示、年月日表示又は期間表示のいずれかを表示した請求項 1, 2 又は 3 記載の T シャツ。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は T シャツに関し、特には T シャツに年表示と特定のメッセージを同時に表示することにより、両者を関連づけて相乗効果を高め、メッセージを顕在化させて付加価値を付与することにより、各種記念品や贈答用、お土産として好適な T シャツに関する。

【背景技術】

20

【0002】

T シャツは、襟の付いていない半袖丸首で、両袖を左右に広げた時に T の文字に見えるシャツである。年齢、性別を問わず広く普及しており、インナーからアウターまで多用途に着こなされ、定番のファッションアイテムとなっている。また、T シャツはシンプルな構成であり、前面や背面にプリントが容易であるため、ブランド名、企業名、イベント名、地域名称、文言、図案、キャッチフレーズ、メッセージ、キャラクター等を表示して各種記念品、ノベルティ、販売促進や宣伝広告等としても多用されている。

【0003】

さらに、T シャツの表示として種々のものが提供されており、スポーツ紙の一面を飾る写真入りの記事をプリントした T シャツ（特許文献 1）や、T シャツに表示した文字を立体的に浮かび上がらせたり（特許文献 2）、魚拓による T シャツ（特許文献 3）等も提供されている。

30

【特許文献 1】実用新案登録第 3097481 号公報

【特許文献 2】実用新案登録第 3073006 号公報

【特許文献 3】実用新案登録第 3018286 号公報

【考案の開示】**【考案が解決しようとする課題】****【0004】**

しかしながら、従来の販売促進や宣伝広告のための T シャツは専らブランド名やキャラクター表示に留まり、又特定のメッセージを表したいいわゆる T シャツも特定の年表示と組み合わせて表示したものは提供されていない。中でも、社会生活を営む基本の言葉である「ありがとう」の表示と特定の年表示を組み合わせて表示した T シャツは全く提供されていない。

40

【0005】

特許文献 1 にかかる T シャツはスポーツ新聞の記事をそのまま転写する構成であり、メッセージの表示ではなく、特許文献 2 にかかる T シャツは文字は表示されているが、年表示は表示されていない。更に特許文献 3 にかかる T シャツも魚拓を表示するものであって、特定のメッセージを表示するものではない。

【0006】

そこで、本考案は、T シャツに年表示と特定のメッセージを同時に表示することにより

50

、両者を関連づけて相乗効果を高め、メッセージを顕在化させて付加価値を付与することにより、各種記念品や贈答用、お土産として好適なTシャツを提供する。

【課題を解決するための手段】

【0007】

本考案は上記目的を達成するために、特定の年表示と特定のメッセージを表示してなるTシャツを基本として提供する。そして、特定の年表示と特定のメッセージをTシャツの前面、背面又は袖から選択された一又は複数の箇所に表示してなる構成とし、メッセージとして「ありがとう」の文言を表示する。また、年表示に代えて、年度表示とし、更に年表示に代えて、年月表示、年月日表示又は期間表示のいずれかを表示する。

【考案の効果】

10

【0008】

上記構成の本考案によれば、Tシャツに表示された特定の表示を、特定の年表示として関連づけて表示することができ、Tシャツの付加価値を高めることができる。特に「ありがとう」の表示を、年表示と共に表示することによって、「ありがとう」の文字に込める個々の思いを個性化することができる。

【考案を実施するための最良の形態】

【0009】

以下図面に基づいて本考案にかかるTシャツの最良の実施形態を説明する。図1は本考案にかかるTシャツの第1実施形態を示す正面図である。図において1はTシャツであり、襟の付いていない半袖丸首で、両袖を左右に広げた時にTの文字に見えるシャツである。2はTシャツ1の前面であり、胸部分に西暦2008年を表す「2008」の数字からなる特定の年表示3と、平仮名横書きの「ありがとう」の文字からなる特定のメッセージ4とが表示されている。この第1実施形態ではTシャツ1の背面には格段の表示をしていない。図3は特定の年表示3と特定のメッセージ4の拡大図である。

20

【0010】

図2は本考案にかかるTシャツの第2実施形態を示す背面図である。図において5は実施形態1と同様のTシャツであり、6はTシャツ5の背面であり、上部中央に西暦2008年を表す「2008」の数字からなる特定の年表示3と、平仮名縦書きの「ありがとう」の文字からなる特定のメッセージ4とが表示されている。この第2実施形態ではTシャツ1の前面には格段の表示をしていない。

30

【0011】

特定の年表示3や特定のメッセージ4の表示方法は転写、印刷、プリント、刺繍その他の公知の手段を採用すればよい。あるいは、特定の年表示3と特定のメッセージ4の表示欄をTシャツ1の前面に画成しておき、購入者や使用者が手書きするようにしてもよい。特定の年表示3は西暦表示に限らず、和暦、或いは西暦と和暦との双方を表示するようにしてもよい。また、特定の年表示3に代えて、特定の年度表示としたり、年月表示、年月日表示又は期間表示としてもよい。なお、特定の年表示3と特定のメッセージ4は一体として、一覧できるように表示することが好ましい。

【0012】

また、特定のメッセージ4としては、社会生活を営む上で基本となる他者への感謝の言葉である「ありがとう」を表示することが適当である。なお、「ありがとう」の文字は漢字、或いは英語その他の言語で感謝を表す文字を表示してもよい。さらに、特定のメッセージ4は「ありがとう」の文字に限らず、他の意味を表す任意の文言であってもよい。また、特定のメッセージ4を表示する場所はTシャツ1、5の前面、背面に限らず袖口その他の場所であってもよく、これらの複数の箇所に表示するものであってもよい。

40

【0013】

上記構成のTシャツ1、5を所有、着用すれば、特定の年表示3である「2008」の表示と、特定のメッセージ4である「ありがとう」の文言が融合し、例えば年初であれば、「今年1年の生活に思い馳せ今年は頑張ろう」との思いを祈念する象徴として使用することができ、年の終わりにあたっては過ぎゆく1年を感謝する象徴とすることができる。

50

また、記念の年や人生のメモリアルになる結婚、出産、入学、卒業、就職等々の出来事が行われる年であれば、事前にはこれらの成功を祈念する象徴として、又出来事終了後にはこれらの思い出の象徴とすることができる。また、毎年巡ってくる誕生日、結婚記念日、父の日、母の日等々の記念日においても、特定の年の記念日を象徴することができる。即ち、単に特定のメッセージ4を表示するのではなく、特定の年表示3と双方を表示することによって、特定のメッセージ4に係わる出来事を具体的に想起することが可能となり、Tシャツ1，5に付加価値を付与することができる。

【0014】

例えば、母の日の記念として、母親にプレゼントすれば、母親に対する感謝を2008年のありがとうとして贈ることができ、年数を経ても、2008年の出来事を容易に想起することができる。また、年数を繰り返すことにより、固有の年のありがとうを積み重ねることができる。また、旅行の土産品として購入すれば、旅行の思い出を2008年の思い出とすることができる。よって、いわば年ごとのイヤートシャツとして特定の表示を伝えることができる。

【産業上の利用可能性】

【0015】

以上詳細に説明したように、本考案によれば、Tシャツに表示された特定の表示を、特定の年表示として関連づけて表示することができ、Tシャツの付加価値を高めることができる。特に「ありがとう」の表示を、年表示と共に表示することによって、「ありがとう」の文字に込める個々の思いを個性化することができる。また、特定の年表示と特定のメッセージを関連づけることによりメッセージを顕在化させて相乗効果を高めることができるため、本考案にかかるTシャツは各種記念品や贈答用、お土産として好適である。

【図面の簡単な説明】

【0016】

【図1】本考案にかかるTシャツの第1実施形態を示す正面図。

【図2】本考案にかかるTシャツの第2実施形態を示す背面図。

【図3】特定の年表示と特定のメッセージの拡大図。

【符号の説明】

【0017】

- 1，5…Tシャツ
- 2…前面
- 3…特定の年表示
- 4…特定のメッセージ
- 6…背面

10

20

30

【図 1】



【図 2】



【図 3】

